TSD-AT シリーズ タッチドライバ Universal Pointer Device Driver UPDD ユーザーズガイド

Version 06.00.635 / 65126

三菱電機エンジニアリング株式会社

http://www.mee.co.jp/sales/visual/touch-monitor/

1.	はじ	めに	З
2.	動作	環境	4
З.	イン	ストール	5
4.	アン	インストール	9
5.	ソフ	トウェア起動	.11
6.	タッ	チデバイスの登録と削除	.12
6	5.1.	タッチデバイスの登録	.12
6	6.2.	タッチデバイスの削除	.14
7.	モニ	ター識別の実行	.15
8.	キ ャ	リブレーションの実行	.17
9.	UPC	DD コンソール(機能設定ツール)	.19
ç	9.1.	タッチ	.20
S	.2.	キャリブレーション	.24
g	.3.	タッチ OSD	.25
G	.4.	高度な設定	.26
S	9.5.	デバイス	.27
ç	9.6.	情報	.28
10	テ	スト	.29
11.	$\overline{\mathbf{v}}$	ーカー	.31
12.	ス	タンバイ(スリープ)状態からの復帰	.32
13.	故	障かなと思ったら	.35
付録	ま タッ	ッチパネルアプリケーションのデザイン	.36

1. はじめに

このたびは弊社タッチパネルモニターをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。 このユーザーズガイドに説明しておりますタッチドライバ"UPDD"(以後、本ソフトウェア)は、 TSD-AT シリーズ タッチコントローラと通信を行い、タッチパネルを操作することによりマウス カーソルの移動やマウスクリックのイベントを実行させるマウスエミュレーションソフトウェアです。

ご使用前に必ずお読み下さい。

- ●本ソフトウェアご使用に際しての制限事項 本ソフトウェアには、現段階では対応しきれていない制限事項がございます。障害が発生した場合、 サポートできない可能性がありますのでご了承ください。
- ●本ソフトウェアご使用に際して

タッチ動作は、弊社より提供いたします本ソフトウェアと代表的なオペレーティングシステムとの 組み合わせにおいて確認しております。お客様独自のタッチドライバ(ソフトウェア)を使用される 場合は、弊社営業まで問い合わせください。

●
 ユーザーズガイド

本書は、ご使用になられる本ソフトウェアの対象となるハードウェア(コンピュータ)及び、オペ レーティングシステム(Windows®)を熟知したコンピュータ熟練者向けに作成されています。

●ご利用条件、注意事項(導入する前に必ずお読みください)

お客様は、三菱電機エンジニアリング株式会社製タッチパネルモニターを接続しているコンピュー タでのみ、本ソフトウェアを使用する事ができます。ただし、オンラインソフトおよびAdobe Reader はこれに含まれません。

お客様は、本ソフトウェアを複製および転載をおこなうことはできません。ただし、お客様ご自身 で本ソフトウェアをバックアップする目的に限り、本ソフトウェアを1部のみ複製することができ ます。

お客様は、本ソフトウェアを商行為として第三者への譲渡やレンタル又はリースすることはできません。

お客様は、本ソフトウェアを修正、解体、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。 お客様は、本ソフトウェアを日本国内のみで使用することができます。

本ソフトウェアの使用条件、動作環境以外でのご利用はできません。

本ソフトウェアが外国為替及び外国貿易管理法及びこれに付随する法令の規制対象品となる場合、 お客様は当該法令及び規則を遵守するものとします。

●本ソフトウェアのサポート

お客様は、タッチパネルモニターの一般的な動作に関わる事項に限り、弊社からのサポートを受けることができます。

本ソフトウェアの導入および使用に関しては、お客様の責任においておこなう必要があります。

本ソフトウェアを導入することによって発生したトラブルに関しましては、弊社では責任を負いか ねます。

環境を元の状態に戻せるように、インストール前に、ご使用中のシステムのバックアップをお取り ください。

弊社はお客様に対し、本ソフトウェアの使用又は使用不能から生じる如何なる損害(事業利益の損害、事業の中断、事業場所の損失、又は、その他の金銭的損害を含む)に関しての一切の責任を負わないものとします。

タッチパネルモニター用ソフトウェアには、現段階では対応しきれていない制限事項がございます。 障害が発生した場合、これらの制限事項に書き込まれている内容に関しては、サポートできません のでご了承ください。

●コンパチビリティ

本ソフトウェアは、使用されるコンピュータ(ホスト)、オペレーティングシステム、アプリケーションなどの組み合わせにおいて、不具合が発生する可能性がゼロではなく、お客様の使用環境下にて評価を実施いただき、その上でご使用ください。 また本ソフトウェアは、随時改良及び公開をおこなっています。ご不明な点は、弊社営業まで問い 合わせください。

●著作権

本ソフトウェアの著作権はTouch-Base, Ltd.に帰属します。

本書および本CD-ROM のソフトウェアに記述されている会社名、製品名等は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

オンラインソフトに関しては、三菱電機エンジニアリング株式会社は、それぞれのソフトウェアの 作者に対して配布の許可を得ています。お客様が再配布する場合には、その作者に対して、お客様 が配布の許可を受ける必要があります。お取り扱いにつきましては、それぞれのソフトウェアに添 付されたドキュメントをお読みください。

Adobe Reader のお取り扱いにつきましては、アドビシステムズ社の使用約款に準じます。

2. 動作環境

OS Microsoft Windows 10 64bit / 32bit

※その他の OS には対応しておりません。

対応していない OS をご使用の場合は弊社までお問い合わせください。 ※全ての環境での動作を保証するものではありません。

3. インストール

※ご注意※

- インストールが完了するまで USB ケーブルで PC と接続しないでください。
- Administrator(管理者)権限のあるユーザアカウントでログインしてください。
- 起動中のアプリケーションは全て終了してください。

※本書では、Windows 10 64bit版環境下における使用方法について説明しています。 説明内の画面はWindows 10 64bit版のものです。お使いの PC や OS のバージョンによって画像が異なる場合があります。

(1) インストーラ起動

セットアッププログラム(UPDD_06_00_632.exe)を実行するとユーザーアカウント制御画面が表示される場合があります。表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

^{ューザー アカウント制御} このアプリがデバイスに変更 か?	× でを加えることを許可します
UPDD 06.00.635 Se 確認済みの発行元: Touch-base Ltc ファイルの入手先: このコンピューター上・ 詳細を表示	tup d のハード ドライブ
はい	เบเนิ

以下の画面が表示されますので、[インストール]をクリックしてください。



お使いのPCの設定によっては、以下の画面が表示される場合があります。インストールするフォルダを指定し、[次へ]をクリックしてください。

● UPDD 06.00.635 セットアップ	-		×
インストール先の指定 UPDD 06.00.635 のインストール先を指定してください。			
UPDD 06.00.635 をインストールするフォルダを指定して、「次/ さい。	් වේ වේ වේ	ックしてくだ	
続けるには「次へ」をクリックしてください。別のフォルダーを選択するには「 ください。	参照」を	クリックして	
C:¥Program Files (x86)¥UPDD	1	参照(<u>R</u>)	
このプログラムは最低 101.7 MB のディスク空き領域を必要とします。			
	_		
次へ创 >	•	キャンセ	ル

以下の画面が表示されますのでインストール先を確認し、[インストール]をクリックしてください。

ンストール準備完了	05 00 625 to () 7 h -	山才る淮(農松でやき) ナ	
	06.00.635 @1.7XF =	ルタの牛加がてきよい	-• (
インストールを続行するには「~ クしてください。	(ンストール」を、設定の	確認や変更を行うには	「戻る」をクリッ
インストール先: C:¥Program Files (x86)			^
Citri Togram Files (xoo)			
			~
<			>

(2) インストール処理

インストールが始まりインストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

■ UPDD 06.00.635 セットアップ	-		×
インストール状況 ご使用のコンピューター(こ UPDD 06.00.635 をインストールしています。 ださい。	. L(16(81	寺ちく	
ファイルを展開しています			
			-
			_
	[キャン	ven -

(3) インストール完了

インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。 [完了] をクリックしインストーラを終了 させてください。

し UPDD 06.00.635 セットアップ	– – ×
	UPDD 06.00.635 セットアップウィザードの 完了 ご使用のコンピューターに UPDD 06.00.635 がセットアップされまし た。 セットアップを終了するには「完了」をクリックしてください。
	完了但

(4) 再起動

インストール終了後は必ずシステムを再起動してください。

※ご注意※

- ご使用の環境によってはインストール直後、本ソフトウェアが正常に動作しない場合がございま す。そのような場合は PC を再起動してください。
- O PC を再起動しても正常に起動しない場合はデバイスマネージャを起動し、デバイスドライバが 正常にインストールされていることを確認してください。



- インストール完了直後は本ソフトウェアがタッチパネルモニターの認識を行いますので、タッチ 操作は行わず、しばらくお待ちください。
- USB 接続の場合、インストール完了後に USB ケーブルを接続してください。
- O USB ドライバがインストールされるまで時間がかかる場合がありますので、しばらくお待ちください。
- シリアルポート接続の場合、6.1 項「タッチデバイスの登録」を参照し設定を行ってください。
- インストール後、ご利用前にキャリブレーション(8 章「キャリブレーションの実行」参照)を 行ってください。マルチモニター環境の場合は、モニター識別(7 章「モニター識別の実行」参 照)を行ってください。

4. アンインストール

本ソフトウェアをアンインストールするには、以下の操作を行います。

※ご注意※

USB コントローラをお使いの場合、アンインストールを行う前に USB ケーブルを PC から外して ください。

(1) アプリと機能を開く

デスクトップ左下の「Windows」マーク		を右クリックし、	[アプリと機能]	を開きます。
-----------------------	--	----------	----------	--------

(2) アンインストールプログラムの起動

[UPDD] を選択して [アンイン	マストール]をクリックします。
設定	- 🗆 ×
命 ホーム	アプリと機能
設定の検索	アプリを入手する場所の選択
アプリ	Microsoft Store だけからアプリをインストールすると、お使いのデバイスを保護する ために役立ちます。
■ アプリと機能	場所を選ばない
≒ 既定のアプリ	アプリと機能
血」オフラインマップ	オブション機能
・ Web サイト用のアプリ	アプリ実行エイリアス
ロョ ビデオの再生	検索や並べ替えを行ったり、ドライブでフィルターをかけたりできます。アプリをアンイン ストールまたは移動する場合は、一覧で目的のアプリを選びます。
〒 スタートアップ	UPDD \wp
	並べ替え:名前 ~ フィルター:すべてのドライブ ~
	UPDD 06.00.635 パージョン v06.00.635 102 MB 2020/08/31 v06.00.635
	変更 アンインストール
	関連設定
	プログラムと機能

(3) アンインストールの実行

以下のウィンドウが開きますので、 [はい] をクリックしてください。



お使いの PC 設定によっては、ユーザーアカウント制御画面が表示される場合があります。表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

ユーザー アカウント制御	×			
この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を 加えることを許可しますか?				
unins000.exe				
発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ				
詳細を表示				
はい	いいえ			

以下の画面が表示され、アンインストールが始まります。

アンインストール状況 ご (使用のコンパットカーから LIPDD 06 00 635 を削縮せしています しげらくお法ちくださ	1
UPDD 06.00.635 をアンインストールしています	

(4) アンインストールの完了

アンインストールが完了すると以下の画面が表示されます。 [OK] をクリックしプログラムを終了 してください。



5. ソフトウェア起動

Windows を起動すると、本ソフトウェアは自動起動しタッチが有効となります。 調整や設定などを行うソフトウェアは、デスクトップ右下システムトレイ上の UPDD アイコン **し**を クリックし、表示されたポップアップメニューからソフトウェアを起動できます。



コンソール	UPDD コンソール(機能設定ツール)を起動します。
モニター識別	モニター識別機能を起動します。(7 章「モニター識別の実行」参照)
テスト	描写テストツールを起動します。(10 章「テスト」参照)
マーカー	マーカー機能を起動します。(11 章「マーカー」参照)
情報	本ソフトウェアバージョンを表示します。

システムトレイ上の UPDD アイコンは、本ソフトウェアが正常に起動しているかを示します。

正常に動作

📔 : 異常あり

異常の場合アイコンの上にマウスカーソルを移動すると、異常ありと判断される理由が表示されます。

※ご注意※

Windows 起動後およびログイン後はドライバが周辺機器の認識を行っており、タッチ操作を行うと 正常な認識ができませんので、システムが完全に立ち上がった後に操作を行ってください。

6. タッチデバイスの登録と削除

6.1. タッチデバイスの登録

タッチモニターとの接続がシリアル通信の場合、以下の手順でタッチデバイスの登録が必要です。 ※USBの場合はタッチモニターと PC を接続すると自動的にタッチデバイスが登録されます。

(1)9章「UPDD コンソール」を参照し、ファンクションバーの[デバイス]から[サポート済みデバイス]を開きます。

UPDD Console		_3	
			(1) 別じる
1 デバイスが見つかりません	インストール済みデバイス サポート済みデバイス USBデバイス タッチデバイス		
全般	ID デバイスタイプ PnP信報 OO1 Mitsubishi, Serial OO2 Mitsubishi, USB 1293;4002		
			+

(2) デバイスタイプから[Serial]を選択し、コンソール画面右下の + ボタンをクリックしてデバイス の登録を行います。

COM ポート名の設定画面が開きますので、接続している COM ポート番号をテキスト入力し[OK] をクリックします。

▶ COMポート名を入力してください		;
名前		
COM1		
	OK	キャンカル

(3) タッチデバイスの登録が完了すると、[インストール済みデバイス]に登録されているデバイスが表

	示されます。また	、コンソール	ル画面左側のデ/	バイスリスト	にもデバイ	ス項目が追加されます。
--	----------	--------	----------	--------	-------	-------------

UPDD Console		_3		×
	Øyf0SD aggatage		× 閉じる	5
全般	インストール済みデバイス サポート済みデバイス USBデバイス タッチデバイス			
Witsubishi, Serial	1 Mitsubishi, Serial			
	 ステータス OK ポート COM1			_
	モニター番号 1			
	E_9-8		-	

(4) COM ポート番号を変更する場合は、[インストール済みデバイス]から[ポート]に表示されている COM ポート番号をテキスト修正します。

6.2. タッチデバイスの削除

タッチデバイスを削除する場合は、[インストール済みデバイス]から削除するUPDDデバイスを選択し、 コンソール画面右下の – ボタンをクリックしてデバイスの削除を行います。

UPDD Console		_		×
かりチ キャリブレーション ツールバー			第じる)
全般	インストール済みデバイス サポート済みデバイス USBデバイス タッチデバイス			
すべてのデバイス	1 Mitsubishi, Serial 2 Mitsubishi, USB			
Mitsubishi, Serial				
Mitsubishi, USB				
				_
	ステータス NOK			
				ה
				J

7. モニター識別の実行

タッチパネルモニターに表示される画面とタッチにより操作される画面を一致させるため、タッチパ ネルモニターのタッチ機能を使用する前にモニター識別を行ってください。

- ※モニター識別は、タッチパネルモニターに表示される画面とタッチにより操作される画面を一致さ せるための構成を行う大切な操作です。
- ※PCに接続するモニターの追加・削除および配置を変更した場合は、モニター識別を実行してください。
- ※一度モニター識別を行うと設定が Windows に記憶されるため、以後、Windows を起動するたび に本操作を行う必要はありません。
- ※登録済みのタッチデバイスと画面を一致させますので、事前に 6.1 項「タッチデバイスの登録」を 参照し、使用するタッチデバイスの登録を行ってください。

	STATES				
UPDD Console					
الله الله الله الله الله الله الله الله		E デバイス 情報			X 閉じる
全般 全般 すべてのデバイス び Mitsubishi, USB	デバイス Mitsubishi, L モニター	ISB	~ 		
Mitsubishi, Serial					
	クリックモード	クリック & ドラッグ 🗸 🗸	インタラクティブタッチ		
	タッチインターフェース	<u> </u>	インタラクティブタッチ 時間	550	
	インターロック		📝 インタラクティブタッチ 視	覚効果	
	インターロック解除時間				
			ダブルクリックアシスト 時間		
	ローパスフィルタ		ダブルクリックアシスト 幅	75	
	リフトオフタイム	500	🗌 リフトオフパケットを無視	する	
			🖌 タッチ有効		
	クリックテスト 				
	27709999	(C)	テスト		

(1)9章「UPDD コンソール」を参照し、[タッチ]メニューを表示します。

(2) [タッチ]メニュー画面の右上の ___ アイコンをクリックしてください。

モニター識別画面が表示されます。モニター識別画面はPCに接続されているモニターすべてに順番に表示されます。

タッチパネルモニターにモニター識別画面が表示された場合、画面をタッチし、表示される円の色が 青色に変わるまでタッチし続けてください。自動的に操作画面とタッチデバイスの一致が行われます。 画面が表示されているモニターがタッチパネルモニターではない場合は、画面内の "次(x)"をクリ ックしてください。



8. キャリブレーションの実行

タッチパネルモニターのタッチ機能を使用される前にキャリブレーションを行ってください。

- ※キャリブレーションは、タッチパネルのタッチ入力した位置と、Windows のカーソル位置を合わせるための補正を行う大切な操作です。
- ※PCに接続するモニターの追加・削除および配置を変更した場合は、キャリブレーションを実行して ください。
- ※一度キャリブレーションを行うとキャリブレーションデータが Windows に記憶されるため、以後、 Windows を起動するたびに本操作を行う必要はありません。
- (1)9章「UPDD コンソール」を参照し、[キャリブレーション]メニューを表示します。

UPDD Console	<u>200</u> 03	
シッチ キャリブレーション シットルバー チッチの5D 画度な設定 デバイス 情報		第じる
全般 ポイント数 4 ~ 位置(%) 10 がitsubishi, USB タイムアウト(秒) ⑦ 10		
Mitsubishi, Serial		
キャリブレーション		

(2) キャリブレーションを実施するタッチデバイスを左部リストから選択後、[キャリブレーション]メ ニュー画面下部の アイコンをクリックしキャリブレーションを実行します。 (3) キャリブレーション画面が表示され、十字のターゲットが表示されます。

ターゲットの中心をタッチすると周りに赤色の円が表示されます。円が青色に変わるまでタッチし続けてください。その後、指を離すとターゲットが次のポイントに移動します。次のターゲットの中心も同様にタッチします。表示されるキャリブレーションポイント数は選択する事が出来ます。(9.2項「キャリブレーション」参照)



(4)全てのキャリブレーションポイントのタッチ入力を終えるとキャリブレーション画面は非表示となります。タッチの精度が問題ないか確認し。不十分であれば再度キャリブレーションを実施するか、 9.2項「キャリブレーション」を参考にキャリブレーションポイント数を増やして設定し、キャリブレーションを実施してください。

※タッチモニターを複数使用する場合、キャリブレーションはそれぞれのタッチデバイスで実施する必要があります。

9. UPDD コンソール (機能設定ツール)

このソフトウェアにて各機能の設定を行います。起動後、以下の画面が表示されます。 ※UPDDコンソールの起動は、5章「ソフトウェア起動」を参照ください。

UPDD Console			ファンクションバー - D ×
		定 デバイス 情報	 し 開じる
全般 ですべてのデバイス Mitsubishi, USB Mitsubishi Serial	デバイス Mitsubishi, I モニター	JSB	~
Witsubish, sena	クリックモード タッチインターフェース インターロック	クリック& ドラッグ タッチ	 インタラクティブタッチ インタラクティブタッチ 時間 (550) インタラクティブタッチ 視覚効果
	インターロック解除時間		ダブルクリックアシスト 時間 □
	ローバスフィルタ リフトオフタイム	500	タフルクリックルマンスト 幅 【15】 「 リフトオフパケットを無視する 『 タッチ有効
	クリックテスト		
	ダブルクリック	ありリック	5 721

デバイスリスト

UPDD コンソール画面上部、ファンクションバーの各メニューボタンの機能は以下の通りです。

タッチ	タッチ操作に関する各種設定を行うメニューを表示します。
	(9.1 項「タッチ」参照)
キャリブレーション	キャリブレーションに関する各種設定を行うメニューを表示します。
	(9.2 項「キャリブレーション」参照)
ツールバー	ツールバーに関する各種設定を行うメニューを表示します。
	※本機能は実行しないでください。
タッチ OSD	タッチ OSD に関する各種設定を行うメニューを表示します。
	(9.3 項「タッチ OSD」参照)
高度な設定	高度な設定を行うメニューを表示します。
	(9.4 項「高度な設定」参照)
デバイス	タッチデバイスに関する各種設定を行うメニューを表示します。
	(9.5 項「デバイス」参照)
情報	UPDD のバージョンを表示します。
	(9.6項「情報」参照)
閉じる	UPDD コンソールを終了します。

UPDDコンソール左側、デバイスリストは登録済みのデバイスが表示されます。 デバイスの登録は6.1項「タッチデバイスの登録」を参照ください。

9.1. タッチ

ファンクションバーから[タッチ]メニューを選択し、デバイスリストから[全般]を選択した場合のコンソール画面は以下の通りです。

UPDD Console		_	
	Image: SD 画度な設定 デバイス 1 情報		X 閉じる
全般 すべてのデバイス アンデ がitsubishi, USB アンプ Mitsubishi, Serial	Pンカーマウス bーマウス 復見録時間(ミリ秒) 500 bーマウス サンプル時間(ミリ秒) 100 くシステム> ~		
☑ : ライ t (保証	f効 シス 永久 期限 2020-11-30		
	Б iSthf		

アンカーマウス	アンカーマウスの機能の有効/無効を設定します。
	有効にすると、タッチモニターをタッチし終わるとタッチする以前の元の位置にマウスカーソ ルが移動します。
アンカーマウス 復帰時間	アンカーマウス機能によって、タッチアップしてから元の位置にマウスカーソルが移動するま での時間を設定します。
	0~10,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。
アンカーマウス サンプル時間	アンカーマウス機能によって、マウスカーソルが移動する元の位置の検出時間間隔を設定します。
	○ ○<10,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。
言語	UPDDで表示される言語を選択できます。
	※本ユーザーズガイドは、言語設定が日本語に設定されているPCで本設定を「〈システム〉」 に設定した場合と、PCの言語設定に関係なく「日本語」に設定した場合で説明しています。
有効	デバイスのタッチ動作の有効/無効を選択します。
	チェックされている時にタッチパネル操作が可能になります。
診断	UPDDの不具合解析に使用しますので、通常は使用しないでください。

ファンクションバーから[タッチ]メニューを選択し、デバイスリストから各タッチデバイスを選択した場合のUPDDコンソール画面は以下の通りです。

UPDD Console					<u>_</u>	
		定 デバイス 情報				(月)じる
全般 まべてのデバイス がitsubishi, USB	デバイス Mitsubishi, モニター 1 - Default	USB Monitor		 		
🚥 Mitsubishi, Serial						
	クリックモード	クリック& ドラッグ	\sim	インタラクティブタッチ		
	タッチインターフェース	タッチ	\sim	インタラクティブタッチ 時間	550	
	インターロック			📝 インタラクティブタッチ 視	寬前果	
	インターロック解除時間]				
				ダブルクリックアシスト 時間		
	ローパスフィルタ			ダブルクリックアシスト 幅	75	
	リフトオフタイム	✓ 500		🗌 リフトオフパケットを無視	する	
				📝 タッチ有効		
	クリックテスト		ſ			
	ダブルクリック	右クリック		テスト		

デバイス	デバイス名を編集する事が出来ます。
モニター	タッチデバイスで操作されるモニターを選択することが出来ます。
クリックモード	タッチ時のクリック動作を設定します。
	Oクリック&ドラッグ
	タッチした時クリックし、ドラッグを行うことができます。 (通常のマウス操作と同様の操作です。)
	〇離したところをクリック
	タッチした時はタッチダウンとみなさず、指を離した時にタッチダウンおよびタッチアップ 操作を行います。
	Oクリックなし
	タッチした時にタッチダウンおよびタッチアップ操作を行いません。 この設定の場合、マウスポインタの移動のみが可能です。
	Oタッチしたときクリック
	タッチした時にタッチダウンおよびタッチアップ操作を行います。 ドラッグ操作を行うことはできません。
タッチインターフ	タッチパネルからのタッチ入力モードを設定します。
ェース	マウス:マウスエミューレーションとして動作します。
	タッチ:仮想 HID インターフェースとして動作します。
	Windows タッチ(シングルタッチのみ)を使用する場合はこちらを選択ください。

インターロック	複数のタッチパネルモニターを使用する時、それぞれのデバイスに対してタッチ操作の優先権の設定をすることができます。チェックボックスにチェックを入れることで以下が選択できます。チェックを入れていないときは、無効を選択した状態となります。
	 ・いつでもタッチ操作が行える権限です。他のタッチモニターが操作中(タッチダウン中)でも 割り込んで操作することができます。ただし、同時に複数アドミニ設定のタッチパネルがある 場合、インターロック設定と同様の動作を行います。 ただし、インターロック設定が有効で且つインターロック解除時間が設定されている別のタッ チモニターが操作されていた場合は、タッチ操作が終わってからそのタッチパネルモニターの 「インターロック解除時間」経過後にタッチ操作が可能となります
	 Oインターロック 他に操作中(タッチダウン中)のタッチモニターがない場合はタッチ操作が可能です。
	他に操作中のタッチモニターがある場合、そのタッチモニターのタッチ操作が終わるとタッチ 操作できます。
	ただし、タッチ操作中にアドミニ権限をもつ別のタッチパネルモニターがタッチ操作されると 操作が停止し、そのタッチモニターの操作(タッチダウン)が終わるまでタッチ操作を行うこ とができません。
	また、インターロック設定が有効で且つインターロック解除時間が設定されている別のタッチ モニターが操作されていた場合は、タッチ操作が終わってからそのタッチパネルモニターの 「インターロック解除時間」経過後にタッチ操作が可能となります。
	O無効
	インターロックの機能を無効とし、他に操作中(タッチダウン中)のタッチモニターがある場 合でもタッチ操作ができる設定です。ただし、アドミニ設定の別のタッチパネルモニターがタ ッチ操作された場合は、タッチ操作が中断します。
インターロック 解除時間	ユーザーがタッチ操作終了後、別のタッチパネルモニターに対しタッチパネルモニターの使用 権を放棄するまでの時間を設定します。チェックボックスにチェックすると設定値が入力でき るようになり、インターロック解除時間が有効になります。
	1~5,000の範囲で設定できより。単位はミリ秒です。 ※本設定は[インターロック]を有効(アドミニもしくはインターロック)にしている場合に有 効になります。
ローパスフィルタ	線描写を滑らかに行うために設定します。
	チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ローパスフィルタ機能が 有効になります。1~2,000の範囲で設定できます。
	※設定値は大きく設定しすぎると描写速度に影響を与えますのでご注意ください。
リフトオフタイム	本ソフトウェアが最後の座標データを受け取った後、タッチアップ処理を行うまでの待ち時間 を設定します。
	チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、リフトオフタイム機能が 有効になります。
	1~5,000 の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。
	 ※通常はタッチモニターからのリフトオフ通知によりタッチアップ処理が行われます。 [リフトオフパケットを無視する]が無効の場合、リフトオフ通知の発行より短いリフトオフタイムを設定した場合、本機能が先に働き、設定した時間でタッチアップ処理が行われます。 [リフトオフパケットを無視する]が有効の場合、リフトオフ通知が無視されますので、常に本設定値により設定した待ち時間でタッチアップ処理が行われます。

インタラクティブ	インタラクティブタッチの有効/無効の選択と、有効とした時動作を設定します。
タッチ	インタラクティブタッチは、タッチし続けることで右クリックを実行する機能です。設定によ
	り右クリックされるタイミングが異なります。
	本設定は[タッチインターフェース]をマウスに設定し、[クリックモード]を[クリック&ドラッ
	グ]に設定した場合に機能します。
	即時:
	インタラクティブタッチ時間で設定した時間の間タッチし続けるとすぐに右クリックが実行 されます。
	ドラッグ:
	インタラクティブタッチ時間で設定した時間の間タッチし続けるとマウスの右ボタンを押し た状態になります。タッチし続けている間はボタンを押した状態のままで、タッチアップし た時、右ボタンが離された状態になります。
	ラッチ:
	インタラクティブタッチ時間で設定した時間の間タッチし続けると右クリックの判定となり ますが、押し続けている間は右クリックが実行されません。タッチアップした時に右クリッ クが実行されます。
	オフ:
	選択するとインタラクティブタッチが無効になります。
	タッチし続けた場合でも右クリックが実行されません。
インタラクティブ	インタラクティブタッチで右クリックと判定される時間を設定します。
タッチ 時間	1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。
	本設定は[タッチインターフェース]をマウスに設定した場合に機能します。
インタラクティブ タッチ 視覚効果	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。
インタラクティブ タッチ 視覚効果	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定します。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定します。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定します。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト 時間を有効にした場合に機能します。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅 リフトオフパケッ トを無視する	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト 時間を有効にした場合に機能します。 タッチモニターからのリフトオフ通知を無視する設定の有効/無効を選択します。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅 リフトオフパケッ トを無視する タッチ有効	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト 時間を有効にした場合に機能します。 タッチモニターからのリフトオフ通知を無視する設定の有効/無効を選択します。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅 リフトオフパケッ トを無視する タッチ有効	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト 時間を有効にした場合に機能します。 タッチモニターからのリフトオフ通知を無視する設定の有効/無効を選択します。 デバイスのタッチ動作の有効/無効を選択します。 チェックされている時にタッチパネル操作が可能になります。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅 リフトオフパケッ トを無視する タッチ有効	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト 時間を有効にした場合に機能します。 タッチモニターからのリフトオフ通知を無視する設定の有効/無効を選択します。 デバイスのタッチ動作の有効/無効を選択します。 チェックされている時にタッチパネル操作が可能になります。 各アイコンを操作することで右クリックおよびダブルクリックのテストを行うことができま
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅 リフトオフパケッ トを無視する タッチ有効 クリックテスト	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト 時間を有効にした場合に機能します。 タッチモニターからのリフトオフ通知を無視する設定の有効/無効を選択します。 デバイスのタッチ動作の有効/無効を選択します。 チェックされている時にタッチパネル操作が可能になります。 各アイコンを操作することで右クリックおよびダブルクリックのテストを行うことができま す。
インタラクティブ タッチ 視覚効果 ダブルクリック アシスト 時間 ダブルクリック アシスト 幅 リフトオフパケッ トを無視する タッチ有効 クリックテスト テスト	タッチし続けて右クリック判定されるまでの間に表示される視覚効果の有効/無効を設定しま す。 タッチインターフェースを[マウス]に設定した場合に視覚効果が表示されます。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ時間間隔の許容値を設定します。 チェックボックスにチェックすると設定値が入力できるようになり、ダブルクリックアシスト 時間が有効になります。 1~2,000の範囲で設定できます。単位はミリ秒です。 ※マウスのプロパティの[ダブルクリックの速度]設定と同時に機能します。例えば、ダブルク リックの速度を[速く]に設定している場合、ダブルクリックアシスト時間を大きな値にしても 素早くダブルクリックする必要があります。 ダブルクリックと判定される二回のタッチ位置のズレの許容値を設定します。 0~200の範囲で設定できます。単位はピクセルです。 ※本設定はダブルクリックアシスト時間を有効にした場合に機能します。 タッチモニターからのリフトオフ通知を無視する設定の有効/無効を選択します。 デバイスのタッチ動作の有効/無効を選択します。 チェックされている時にタッチパネル操作が可能になります。 各アイコンを操作することで右クリックおよびダブルクリックのテストを行うことができま す。

9.2. キャリブレーション

ファンクションバーから[キャリブレーション]メニュー選択した場合のUPDDコンソール画面は以下の通りです。

タッチモニターとUSB接続しUSBデバイスがUPDDに登録されている場合と、シリアル接続でタッチデバイスの登録が完了している場合に[キャリブレーション]メニューを選択することが出来ます。

UPDD Console		– 🗆 X
		開じる
全般 すべてのデバイス 酸 Mitsubishi, USB Witsubishi, Serial	ポイント数 ↓ マージン% 10 タイムアウト(秒) √ 10 □ キャリブレーション後の確認	
	(+) + + ★ヤリブレーション	

ポイント数	タッチ位置のキャリブレーションを行う際に使用するポイント数を設定します。
	4, 9, 11, 25から選択できます。 (8章「キャリブレーションの実行」参照)
マージン	キャリブレーションポイントを画面の端面からどのくらいの位置に表示するかを設定します。0~20の範囲で設定できます。
タイムアウト	キャリブレーション時、無操作後にタイムアウトになるまでの時間を設定します。
	0~3,600の範囲で設定できます。単位は秒です。
キャリブレーション	キャリブレーション完了時の確認ボタン(OK ボタン)の表示/非表示を設定します。
後の確認	
キャリブレーション	キャリブレーションを実行します。(8章「キャリブレーションの実行」参照)

9.3. タッチ OSD

ファンクションバーから[タッチOSD]メニュー選択した場合のUPDDコンソール画面は以下の通りです。 タッチOSD機能を持ったタッチモニターが接続されている場合に選択可能です。

UPDD Console	– 🗆 X
シーチャリブレーション シールバー 小川 小 小川 小川	展じる
 	。 ださ 一 記定保存(S)

タッチシーケンス	タッチ操作により OSD メニューを表示させるためのコマンドを表示します。
	右上のモニターアイコン上の A/B/C/D をクリックもしくはタッチすることでタッチシーケン
	スを変更することが可能です。
	設定を反映させるためには[設定保存]を押してください。
タッチ OSD 有効	タッチ OSD 機能を有効/無効を選択します。
	チェックされている時に機能が有効となります。設定を反映させるためには[設定保存]を押し
	てください。
OSD の表示	タッチ OSD の有効/無効にかかわらず、OSD メニューを表示します。
設定保存	変更したタッチ OSD の設定を保存します。
	タッチ OSD の設定を変更した場合のみクリック可能になります。
	※変更した設定を有効にするには設定保存をする必要があります。

9.4. 高度な設定

ファンクションバーから[高度な設定]メニュー選択した場合のUPDDコンソール画面は以下の通りです。

UPDD Console		_		×
	・ ・		い、開じ	3
全般	設定 ツール			
すべてのデバイス 画面端	加速 開始位置(%) 2			
Mitsubishi, USB				
12グメン Mitsubishi, Serial	-y _∃ >			

このときの各項目の機能は以下の通りです。

[全般]タブ

画面端加速 開始位置(%)	画面端において、実際にタッチした位置よりさらに外側をタッチしたとみなす機能を持
	っています。
	本設定は、機能が開始する位置を設定します。O~10の範囲で設定できます。単位は
	画面幅・高さをそれぞれ 100%として、%で表します。
	タッチパネルの上のベゼル等で画面端がタッチしにくい場合、本機能により画面端まで
	タッチ操作が可能となります。
	※本機能は自動的に加速度を補正します。タッチ領域上下左右それぞれで最も外側のタ
	ッチ位置が画面端をタッチした位置となるように補正します。このため、設定値の変
	更後初めて加速領域をタッチする場合や以前より外側をタッチした場合、画面端をタ
	ッチした動きとなります。
セグメンテーション	本設定は[1 x 1]の設定のままお使いください。

[設定]タブ

様々な項目を設定します。	
設定項目の詳細に関しては、以下のリンク先を参照ください。	
http://support.touch-base.com/Documentation/	_

[ツール]タブ

すべての設定をエクスポート	設定項目の設定値をファイルにエクスポートします。
設定をインポート	エクスポートしていた設定ファイルのインポートを行います。

※インポートはタッチデバイスを追加した後、実行してください。

9.5. デバイス

ファンクションバーから[デバイス]メニューを選択した場合のUPDDコンソール画面は以下の通りです。

UPDD Console		<u>- 1</u> 87	
			第じる
全般	インストール済みデバイス サポート済みデバイス USBデバイス タッチデバイス		
すべてのデパイス	1 Mitsubishi, USB 4 Mitsubishi, Serial		
	モニター番号 1		
	モニター名 ()		-

[インストール済みデバイス]

登録が完了しているタッチデバイスの一覧が表示されます。 タッチデバイスの削除に関しては、6.2項「タッチデバイスの削除」を参照ください。

[サポート済みデバイス]

UPDDが対応するタッチデバイスの一覧が表示されます。 また、タッチモニターとの接続がシリアルの場合、タッチデバイスの登録を行うことが出来ます。 タッチデバイスの登録に関しては、6.1項「タッチデバイスの登録」を参照ください。

[USBデバイス]

PCに接続中のUSBデバイスの一覧を表示します。

[タッチデバイス]

PCに接続中のUSBタッチデバイス(タッチモニター)の一覧を表示します。

9.6. 情報

ファンクションバーから[情報]メニューを選択した場合のUPDDコンソール画面は以下の通りです。



本メニューでは UPDD のバージョンが確認できます。

10. テスト

このソフトウェアにて、描画テストを行います。

(1) 全画面表示

タッチした位置に赤のマーカーが表示されます。テストで描いた線を消去する場合は、画面右下の[クリア]をクリックしてください。

テスト画面を終了する場合は、画面右下の[全画面表示を終了]をクリックしウインドウ表示し、[閉じる]をクリックしてください。



(2) ウインドウ表示

[スケーリング無し]設定の場合、タッチした位置に赤のマーカーが表示されます。[スケーリング]設定の場合、タッチパネル全面とツール表示画面エリアが対応するタッチ位置に赤のマーカーが表示されます。

テストで描いた線を消去する場合は、[クリア]をクリックしてください。 全画面表示する場合は、[全画面表示]をクリックしてください。 テスト画面を終了する場合は、[閉じる]をクリックしてください。



11. マーカー

マーカー機能を起動します。マーカー機能とは、タッチ操作でデスクトップ上に線を書き込む機能です。

実行するとデスクトップ上に以下のコントロールダイアログが表示されます。

Ø	
ß	このアイコンの領域をクリック&ドラッグし、コントロールダイアログの移動を行います。 ダブルクリックすることで、コントロールダイアログの表示を水平と垂直のどちらかに切り替えることが出来ます。
✓ ≪✓ ×	クリックすることで3つの状態を切り替えることが出来ます。 ✓ タッチ・ムーブ操作はすべてマーカーとなります。
	マーカーの色を示しています。クリックするこ とで右の画面が表示され、マーカーの色と透明 度、消しゴムのサイズを設定することが出来ま す。
	クリックすることで右の画面が表示され、 マーカーの太さを設定することが出来ます。
	クリックすることで右の画面が表示され、 コントロールダイアログの透明度を設定することが 出来ます。
Ì	表示されているマーカーを消去します。
Ō	マーカーを含めデスクトップをキャプチャします。 ※シングルモニター環境でのみ動作します。
ſ	マーカーで書き込んだ線を元に戻します。
C	マーカーで書き込んだ線をやり直します。
\oplus	新しいコントロールダイアログを作成します。
Θ	コントロールダイアログを削除します。

12. スタンバイ (スリープ) 状態からの復帰

USB 接続で使用する場合、スタンバイ状態においてタッチパネルをタッチすることによりスタンバイ 状態から復帰させることが出来ます。

※ 本機能はタッチパネルモニターがシリアル接続の場合、機能しません。

※ご注意※

お使いの PC にハイブリッドスリープの設定がある場合は、オフに設定してください。 ハイブリットスリープは、以下の手順により設定することができます。

① デスクトップ左下の「Windows」マークを右クリックし、 [電源オプション] を開きます。



② 関連設定の[電源の追加設定]をクリックし、電源オプションを表示します。

設定		1000	×
☆ ホーム	電源とスリープ		
設定の検索の	画面		
システム	次の時間が経過後、ディスブレイの電源を切る (電源に接続時)		
🖵 ディスプレイ	10分 ~		
ゆ》 サウンド	スリープ		
□ 通知とアクション	次の時間が経過後、PCをスリープ状態にする (電源に接続時)		
⇒ 集中モード	ttl v		
① 電源とスリープ	電力やパッテリー残量を節約する		
ロ ストレージ	PCの使用をやめてからスリーブ状態になるまでの時間を設定します。		
ゆ タブレット モード	PC の電力の節約に関する詳しい情報を確認する		
目† マルチタスク	関連設定		
回 この PC へのプロジェクション	電源の迫加設定		
※ 共有エクスペリエンス	質問がありますか?		
シ リモート デスクトップ	ヘルプを表示		
① パージョン情報	Windows をより良い製品に		

③ [プラン設定の変更]をクリックし、プラン設定の編集を開きます。



④ [詳細な電源設定の変更]をクリックし、電源オプションを表示します。

🤪 プラン設定の編集				-		×
← → * ↑ 🦃 « 電源オプション	> プラン設定の編集	ٽ ~	コントロール パネノ	レの検索		Q
ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) ツール(<u>T</u>)					
プラン設定の変更・バランス						
スリープ状態やその他のディスプレイ設定を	をお使いのコンピューターに	適用するまでの時間	間を指定してください。			
🔮 ディスプレイの電源を切る:	10分	~				
③ コンピューターをスリープ状態にする:	適用しない	~				
詳細な電源設定の変更(<u>C</u>)						
このプランの既定の設定を復元(R)						
			変更の保存	+	ャンセル	

⑤電源オプションの「スリープ」-「ハイブリッドスリープを許可する」の「+」をクリックして設定 プルダウンメニューから「オフ」を選択します。「OK」ボタンを押して設定を完了させます。

	電源	オプション	?
詳細設定			
🍃 ਹੈ ਵ	スタマイズする電源プラン 電源を管理する方法を	ンを選択してから、お使い 選択してください。	のコンピューター
現在 現	利用できない設定の変更	E	
バランス [ア	クケティブ]	¥	
ד אר-ד ווter	ディスク net Explorer		^
 	トップの背景の設定 レス アダプターの設定 プ		
■ 次 □ 八	の時間が経過後スリー: イブリッド スリーブを許可	プする する	
Ⅲ次	i取た: オフ の時間: オフ リープ解説オン	ಕನ	~
		既定のプランの)復元(<u>R</u>)
	OK	La Maria	\A

13. 故障かなと思ったら

インストールが完了してもタッチパネルが動作しない場合は、次のことを確認してください。

●タッチパネルが動作しない

- * タッチパネルが「動かない」原因は「タッチパネルが故障している」だけではありません。 「接続方法が間違っている」「コンピュータが壊れている」「本ソフトウェアのインストールに 失敗している」「接続しても動作しないシステム環境」「特殊な設定が必要なシステム環境」な どなど、実に様々なものがあります。 本書の内容、取扱説明書などを、もう一度ご覧いただくことをお願いいたします。
- * ハードウェアとソフトウェアの障害切り分け タッチが効かない時は、まず、原因がタッチパネルのハードウェアにあるのか、ソフトウェアに あるのかを切り分ける必要があります。
- * 2台以上ご購入になられた場合 タッチパネルモニターだけ交換してみてください。交換先に不具合が追従しない様であれば、コ ンピュータ側に原因があると考えられます。
- * タッチ通信ケーブル異常 タッチ通信ケーブルが正常に接続されていない可能性があります。弊社製品添付品または弊社推 奨品をご使用になり、設定された接続ポートに確実に接続してください。

付録 タッチパネルアプリケーションのデザイン

この項では、タッチパネルモニターを使用するアプリケーションを設計される際に参考にして頂きた い点を記述しています。

● 画面は高輝度に

明るい色の画面にすることにより、指紋が目立たなくなります。

- ドラッグ、ダブルクリック
 ウィンドウシステム特有の操作をおこなわせず、「ボタンを押す」という単純な動作に統一しましょう。
- タッチをすぐに反応させる
 タッチ入力に対して、すぐに何らかのリアクションをかけることによって、タッチが効いている
 ことをユーザーに知らせましょう。

●ボタンは大きく ボタンは指よりも大きくするというのはもちろんですが、タッチパネルの厚みや設置状態などに よる視点のずれ(視差)がありますので、それも考慮した大きさのボタンにしましょう。

● ボタンは離す

隣り合ったボタン同士の間隔をとることは必要ですが、タッチパネルの厚みや設置状態などによ る視点のずれ(視差)がありますので、それも考慮した間隔にしましょう。

● マウスカーソルを消す

マウスカーソルの存在を知らない人にとっては、矢印が「ここにタッチしてください」というガ イドと思われてしまうことがあります。マウスカーソルを消して錯覚を回避させましょう。 TSD-AT シリーズ タッチドライバ Universal Pointer Device Driver UPDD ユーザーズガイド Version 06.00.635 / 65126

2020年 8月 31日 初版発行 2020年 12月 3日 第二版発行

発行元:三菱電機エンジニアリング株式会社

本マニュアルの一部または全部の無断転載、無断複写を禁止致します。 本マニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。 Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 その他本書に記載された社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。